



平成25年11月11日

各 位

会社名 株式会社ハークスレイ
代表者名 代表取締役会長兼社長 青木 達也
(コード番号：7561 東証・大証一部)
問合わせ先 常務取締役 大槻 哲也
T E L 06(6376)8088

平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成25年5月10日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値の差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値の差異について

- (1) 平成26年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異
(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	26,594	338	531	411	41.25円
今回実績 (B)	25,535	209	563	368	36.87円
増減額 (B-A)	△1,059	△129	32	△43	
増減率 (%)	△4.0	△38.0	6.1	△10.4	
前期実績 (平成25年3月期第2四半期)	27,140	285	583	393	39.36円

- (2) 平成26年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値との差異の理由

当社企業グループは、今後を見据えたブランディング戦略の推進と収益構造の強化を図っております。

当第2四半期累計期間の連結業績において、異業種とのコラボや協賛をはじめとする広告宣伝活動、物流網の再構築及び開拓に向けた整備費用、店舗網の改廃に伴う資産除去債務の履行差額などから、営業利益において、業績予想と実績値に差異が生じたものであります。

しかしながら、有利子負債の圧縮による支払利息の減少、店舗委託事業において優良な委託先の拡大に努めたことによる業務委託解約損の減少、また、賃貸借物件の契約条件の見直し等を進めたことで、経常利益ではその差異を吸収いたしております。

なお、当初発表の通期連結業績予想につきましては、上記の企業活動の成果が通期において顕在化するものと判断しており、また、連結当期純利益では、前期に受領しております連結子会社の訴訟の判決における損害賠償金及び遅延損害金について、現時点において、平成26年3月期の損益に与える影響を反映いたしておりません。当該訴訟の判決による影響が大きいことが見込まれるため、通期としての連結業績予想の修正はいたしておりません。

また、当社の利益配分は、通期における連結配当性向30%をメルクマールとしております。剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想は、中間配当においては、店舗網の改廃等の施策見直しによる影響であること、また、配当のベースとなる通期での連結当期純利益の業績予想について変更していないため、当初発表のとおり、剰余金の配当(中間配当)として、1株につき12円とし、期末配当予想におきましても、1株につき19円に変更はありません。

【ご参考】平成26年3月期通期連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期業績予想 （平成25年5月10日発表）	54,724	962	1,375	1,047	104.91円
前期実績（平成25年3月期）	53,944	524	1,203	700	70.18円

（注） 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上